http://www.akitajc.jp/

JCI

平成21年12月30日発行

大きなうねりを今こそおこせ！
笑顔が彩る未来輝くあきたのために

JCNEWS

発行人：小畑宏介　　発行所：（社）秋田青年会議所　情報コミュニケーション委員会
〒010-0951 秋田県秋田市山王 2-1-54　三交ビル　3 階 TEL018-824-7070　FAX018-824-7071

VOL.12

2009 年度褒賞受賞者

優秀Jaycee賞　小野　貴信
理事長特別賞　時田　祐司
理事長特別賞　世代間協働推進委員会
　委員長　能登谷　正人
　副委員長　菅原　渉
　運営幹事　仙北谷　聡
　足利　健　今野　尚之　金谷　優
　佐々木　寛人　樽川　正志　那波　尚志
　藤井　政徳　藤島　健
団体賞　青少年育成委員会
　委員長　鈴木　憲
　副委員長　山内　武
　運営幹事　浅利　太郎
　相場　隆広　石川　大史　加藤　恒
　柴田　博幸　菅原　陽　富田　猛
　船越谷　一郎　山田　力
団体賞　「おもいやり」の心推進委員会
　委員長　高橋　大輔
　副委員長　田中　浩行
　運営幹事　大工原　潤
　伊藤　宏基　貝田　信洋　金山　智秋
　上神田　正利　川嶋　俊巳
　葛巻　孝一郎　辻　康平　米澤　弘晃

団体賞　環境行動推進委員会
　委員長　鈴木　亮
　副委員長　高橋　将行
　運営幹事　根田　絵美子　越中谷　正博
　小山内　直規　佐賀　晴樹　佐藤　宏樹
　谷藤　政樹　中村　淳
優秀出向者賞
　小川優　根田絵美子　菅原慎次郎
　大工原潤　秦　裕勝
優秀新人賞
　伊藤宏基　仙北谷聡

12月例会・卒業式を終えて

会員拡大会議　委員　**米村　徹**

去る12月9日（水）に秋田キャッスルホテル4階放光の間に於いて、今年度の最後の例会、12月例会と、2009年度の卒業式が開催されました。当日は例会の担当として、常任理事の方々と協力し、設営しました。卒業式が行われることもあって、大勢のメンバーにご参加いただきました。例会は聞いているこちらまで熱くなるような、想いのこもった理事長挨拶で幕を開けました。後半には毎年恒例の団体・個人の褒賞授与式が行われました。受賞者は今年一年間の活躍に対し、小畑理事長より感謝の言葉とともに表彰され、会場からは大きな拍手が送られていました。受賞されたみなさん本当におめでとうございます、そしてお疲れ様でした。

その後、理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリースの交換が行われ、無事2009年度から2010年度へバトンが渡り、参加メンバーも次年度に向けて新たに気持ちを引き締めている様子でした。

続いて隣の会場にて卒業式が行われました。多数の先輩にもご参加いただき、現役メンバーも敬愛する酉年のメンバーへ心から感謝の気持ちを伝えるべく会場は当初予定していた以上の人数に膨れ上がっていました。「熱い志を胸に、羽ばたけ！13フェニックス、今旅立ちの時」をテーマに13名の卒業生を囲み、盛大に行われました。式は卒業生の経歴紹介・卒業証書授与を行い、その後は理事長挨拶、乾杯へと進み、現役メンバーによるアトラクションへと移りました。ＬＯＭきってのエンターティナーがご卒業されることもあり、世代交代を迎えた秋田ＪＣアトラクション部隊、予想以上の精度で会場は盛り上がりをみせました。アトラクション部隊の皆様、大変お疲れさまでした。

そして小野常任から綿密な下調べと、情熱的で愛情たっぷりの送辞、感極まった卒業生代表、進藤監事からの答辞は予想の数倍の時間とり、大変ありがたいお言葉を数々いただき、我々も一生忘れる事ができない卒業式となりました。ご卒業される皆様には本当にお世話になりました。今後の更なるご活躍をご祈念致します。今まで本当にお疲れ様でした。

最後に12月例会・卒業式を無事終える事ができましたのは、ひとえに皆様の御協力があったればこそと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

12月臨時総会を終えて

総務委員会　委員　**正木　大一**

12月9日（水）12月臨時総会が秋田キャッスルホテルにおいて開催され、合わせて12月例会・卒業式が実施されました。17時からという早い時間からの開会にもかかわらず、多くの会員が出席する中で2010年度予算審議行われ、満場一致で可決承認がなされました。スムーズな議事進行をいただけましたことに、担当させていただいた委員会として感謝申し上げます。

2009年度総務委員会は1月定時総会から数え、今年度は3回の総会を開催いたしました。いずれもタイトな時間組みの中での開催でしたが、皆様のご協力のお陰で無事にすべての議案を承認いただきました。

議長を務めていただいた武藤副理事長をはじめ、副理事長の皆様、出席数確認をいただいた監事のお二方、設営担当の委員会メンバー、出席された会員の皆様、多くの皆様のお力添えがあって総会は開催できたものと心に留めております。一年間のご協力に対し、この場を借りて感謝を申し上げます。

第2回あきたecoスタイル運動２００９を終えて

環境行動推進委員会　運営幹事　**根田　絵美子**

平成21年11月21日（土）、環境行動推進委員会、第2回目の事業「あきたｅｃｏスタイル運動２００９」～オラバッグ（エコバッグ）で買い物に出かけよう～をテーマに、ＴＯＫＩファッション工科専門学校にて開催致しました。

今回もまた、一般の参加者や大学生等の参加をいただき、エコバックでありながら、そのデザイン性を競いあい、各々がＴシャツやＹシャツをうまく利用し作成していました。2回目の参加者も多く、ミシンの扱いは慣れてきたのか、2枚・3枚と作る人、男子学生が作るオラバッグは豪快且つ引きつけられるものがあり、製作過程をじっと見つめてしまうなど、1回目にはない盛り上がりを見せました。そして指導のお手伝いをいただき、ご協力下さったTOKIファッション工科専門学校の先生・生徒の皆様ありがとうございました。また、お忙しい中ご参加下さいましたJCメンバーの皆様ありがとうございました。

地域の魅力創造事業を終えて

地域の魅力創造委員会　運営幹事　**本田　正博**

１２月６日（日）　秋田市の新屋地区から雄和地区にて地域の魅力創造事業「あなたとわたしの雄物川体験ツアー」を開催いたしました。

当日は１２月ということもあり晴れたり雨やあられが降ったり、また強風も吹くなどあいにくの天候にも関わらず親子１１組３１名の方にご参加いただき、事業を開催する事が出来ました。

この事業では、秋田市を流れる雄物川に関する知識を深め愛着をもってもらえるような設えを企画いたしました。まず、事前に当委員会を中心に作成していた雄物川に関するハンドブックを教材として配布し、秋田市新屋から出る秋田悠久ラインの屋形船に乗船、船から雄物川を見て、さらに雄物川に関するクイズで知識を深めました。お昼は雄物川で取れたヤツメウナギや秋田ならではの食材満載のお弁当をみなで堪能し、午後からは雄和にあります出羽和紙（いではわし）にて和紙を使ったクリスマスオーナメントや親御さんへの感謝の気持ちを綴ったクリスマスカードの作成を行いました。

主に小学校高学年の子どもたちとその親御さんの参加でしたが、皆さんそれぞれの形で雄物川への理解を深め興味を持ったようで、これからも雄物川についていろいろ勉強してみたいとの感想もいただきました。

最後になりますが、当日ご参加の皆様、今回の呼びかけにご協力いただいた近隣小学校の皆様、当日ご協力いただきました秋田悠久ライン・出羽和紙の皆様、そしてなにより開催に向けて携わっていただいた多くのＪＣメンバーに感謝申し上げます。ありがとうございました。

2010年度1月定時総会・新年例会のお知らせ

■開催日　　２０１０年　1月１５日（金）
■会場　　シャインプラザ　平安閣
○1月定時総会　16:00～17:45　　４Ｆ　「天翔の間」
○写真撮影　　17:45～　　４Ｆ　「万葉の間」
○新年例会　　18:00～18:55　　４Ｆ　「天翔の間」
○懇親会　　19:10～20:30　　４Ｆ　「瑞雲の間」

※新年例会・懇親会におきましては、登録料のご負担をお願いいたしておりますが、出欠の変更は1月14日（木）午前をもって締め切らせていただきます。尚、当日急な欠席の場合、会場予約の関係上、登録料のご請求をさせていただきますのでご了承ください。

2009年度を振り返って

2009年度　理事長　小畑　宏介

はじめに

我々、青年会議所が目指す「明るい豊かな社会」。それは笑顔が溢れ、誰もが幸せに暮らす社会を思い描くのではないでしょうか。これは、私の所信の冒頭であります。JC運動が、より良い未来へのイメージから始まったように、私も、このあきたの未来を思い描くことから社団法人秋田青年会議所の２００９年度をはじめました。そして、笑顔が溢れる理想の社会に近づきたいという一心で一年間、過ごしてまいりました。

一年を終えようとしている今、メンバーのみなさまから素晴らしい機会を与えていただいたことへの感謝の気持ちしかございません。

「おもいやり」の心の伝播

お互いが優しい繋がりで支え合う地域を目指し、利他の精神に基づく「おもいやり」の心を伝播する事業を行ってまいりました。『親子おもいやりスクール』では、家族が助け合いながら目的を達成していく様々なプログラムを体験していただき、身近な人を想う「おもいやり」の心で溢れる１日となりました。まちを構成する様々な人との関わり、相手の立場に立って考える大切さを感じ取っていただけたと思います。また、相手を感じ、その“つながり”に気付くからこそ生まれる「ありがとう」という気持ちを詰めた『ら・ブック＆ノート』を発刊し、「おもいやり」の心を連鎖的に広げていくことを形として表現することができました。

私たちの実践した「おもいやり」の心が広がり、どこかでたくさんの笑顔を生み出していると確信しております。

誇りあるまちへ

市民や行政、企業、他の団体の方々との更なる「協働」。今後のまちづくりのテーマとなる地域の独自性の高い「魅力」。その２つの「地域の力」を最大限に活かして、秋田を「誇り溢れるまち」にかたちづくっていく事業を行ってまいりました。「協働」においては、３回目となる世代間協働事業『２００９あきたふれ愛フェスタ～ミルヴェさ行くべ～』を行い、これまでの継続事業は勿論のこと、循環アグリ体験を新たに加え、それぞれのプログラムを市民のみなさまと、これまで以上の参画意識のもと、共に作り上げることができました。また、『今こそ前へ！地域・企業・行政で奏でる地域防災ハーモニー』事業を通し、地域防災という切り口で企業の社会貢献への意識付けと秋田JCのスケールメリットにおける可能性を示すことができました。そして、「魅力」においては、「雄物川の隠れた魅力体験ツアー」にて、あきたのまちづくりのテーマとして、雄物川の素晴らしさを示すことができました。そして人間力開発プログラム「学の夏休み」を継続して展開し、魅力ある人間力溢れるあきたへの一助としました。

２つの「地域の力」をもって、人と人、地域と人を結び、まちに貢献する喜びや身近な地域社会への参画意識、そして、地域への誇りを醸成することができたと思います。

子供たちの「道しるべ」

価値判断基準を見失いがちな現代の子供たちに、守るべき道徳的価値観をしっかりと伝えていく事業を行って参りました。青少年育成事業『みんなあつまれ！見て！遊んで！育むどうとくしん』では、紙芝居、キーホルダーづくりというプログラムを通して伝える手法を踏まえて、８つの道徳心を秋田JCの示す「道しるべ」として提示することができました。また、地球環境を未来より借り受けているという視点に立ち行った事業『あきたecoスタイル2009』では「オラバック」という名称で、エコバックを広め、地球環境に配慮する行動を提示できました。

私たちが愛するあきたの未来を託す子供たちのために、また、郷土を引き継いでいく責任世代としてJCの考える方向性を示すことができたと思います。

公益社団法人を視野に

変革の能動者として積極果敢に事業を行い地域に働きかけ、私たちの存在意義を高めていくことを目指した１年でありました。数々の対外事業を通し、可能性を導き、愛するまちや人から共感を得られたのではと感じております。

「つながり」の象徴

世の中は、誰しもが不況という言い訳をし、「自分さえよければよい」という利己主義に偏り、人々の心にひどく冷たい「無関心」という魔物を宿らせてしまっているように思います。そして、地域と人、人と人との関係の希薄化に拍車をかけ、地域やそこに暮らす人々が、本来もつ活気や元気を失わせているように思うのです。私たちが「無関心」という魔物と対峙するのに必要なのは、目に見えない「つながり」ではないでしょうか。それは「おもいやり」という心の「つながり」であり、誇り・愛着心という地域との「つながり」であり、子供たちへ託す強い想いという未来への「つながり」であると思うのです。私はこの1年、メンバーのみなさまから、「つながり」を表す「利他の精神」、信頼、絆、誇り、郷土愛、協働といった、かけがえのない贈り物をいただきました。それらの「つながり」をもった存在、まさしく、私たち青年会議所こそが、その「つながり」の象徴であると私は感じております。そして、思い描く、笑顔が溢れる社会に変えられる存在も、輝く未来に向け今日の犠牲を厭わない私たちなのではないでしょうか。

結びに

新年例会があり、メンバーに多くの気づきをもたらした例会がありました。また、秋田JC出向者の活躍を誇りに感じる各種大会があり、みなさまのホスピタリティーを示したサッカー全国大会がありました。そして、みなさまの英知と勇気と情熱の結晶である２００９年度を彩った事業がありました。これまで「地域愛と利他の精神がおりなすおもいやりの心をもって笑顔が溢れる心豊かなまちあきた」の創造という基本理念に基づいた１年間のみなさまの全ての活動、そして、お一人おひとりに心から感謝を申し上げます。

本年度、メンバーのみなさまの起こした行動が、どんなに小さなものであったとしても、受け取った人々の心に想いを宿らせることができたなら、それは、消えることなく、やがて螺旋状に広がっていく。終りがあっても、どこかではじまりがあります。そして、どこかで誰かの笑顔をつくっている、私は、そう信じています。２００９年度の秋田JCを彩った全てに感謝致します。１年間本当にありがとうございました。